

12. 骨シンチグラムにて骨外異所集積を呈した前立腺横紋筋肉腫の一例

相澤 卓 間宮 良美 塩澤 寛明
秋山 昭人 並木 一典 三木 誠
(東京医大・泌)
鈴木 孝成 (同・放)

23 歳，男性。肉眼的血尿を主訴に来院。外来にて精査中，尿閉および両下肢麻痺が出現し，さらに急性腎不全，DIC 様症状を呈したため，入院となった。前立腺横紋筋肉腫とその多発性骨転移の診断にて腎機能安定後，Vincristine, Cyclophosphamide, Actinomycin D による化学療法を 3 コース施行した。全身状態はやや改善したものの両下肢麻痺は改善せず。骨転移の治療評価のために施行した骨シンチグラムにて著明な骨外異所集積(肺，胃，腎)を認めた。その後，全身状態は徐々に悪化し約 2 週後に死亡した。骨シンチグラム施行時，血中カルシウムは 17.1 mg/dl と高値を呈していた。

悪性腫瘍に伴う血中カルシウム血症による骨外異所集積例の予後は非常に悪く，ほとんどが骨シンチグラフィ施行後 1 か月以内に死亡している。若干の文献的考察を加えて報告した。

13. 肝胆腫瘍における ^{201}Tl - $^{99\text{m}}\text{Tc}$ サブトラクション SPECT

戸川 貴史 油井 信春 木下富士美
柳沢 正道 (千葉がんセ・核)
山田 滋 (同・消外)

胆道癌 3 例，原発性肝癌 1 例，胆嚢癌 1 例，肉芽腫性胆嚢炎 1 例に計 9 回の ^{201}Tl - $^{99\text{m}}\text{Tc}$ サブトラクション SPECT を行い，肝胆道腫瘍の描出に本法が有用か否か検討した。塩化タリウム 111 MBq と $^{99\text{m}}\text{Tc}$ -フチン酸 185 MBq を同時投与し，3 検出器回転型 SPECT 装置を用い， ^{201}Tl - $^{99\text{m}}\text{Tc}$ サブトラクション画像を作成した。悪性腫瘍 5 例中 4 例で陽性所見が得られた。治療後は陰性となり，治療効果判定にも有用であると思われる。疑陽性の 1 例は肉芽組織に ^{201}Tl が集積したものと考えられた。 ^{201}Tl - $^{99\text{m}}\text{Tc}$ サブトラクション SPECT は肝胆腫瘍に应用可能であり，有用性が高いと思われる。

14. ^{201}Tl ， $^{99\text{m}}\text{Tc}$ -DTPA 2 核種 SPECT による縦隔腫瘍の診断

尾尻 博也 守谷 悦男 平瀬 清
川上 憲司 (慈恵医大・放)

〔目的〕 組織診断の確定した縦隔腫瘍 10 例に対し， ^{201}Tl SPECT を施行，その結果を対比検討した。その 5 例には $^{99\text{m}}\text{Tc}$ -DTPA SPECT を行い，2 核種 SPECT の有用性を検討した。

〔結果〕 ^{201}Tl SPECT で胸腺嚢胞を除く胸腺疾患では，いずれも集積を示した。 $^{99\text{m}}\text{Tc}$ -DTPA SPECT では胸腺疾患の集積はなく，神経鞘腫，奇形腫で集積+であった。

〔結語〕 ^{201}Tl SPECT は，集積強度から各胸腺疾患の鑑別は困難であるが悪性胸腺で有用であった。 $^{99\text{m}}\text{Tc}$ -DTPA SPECT は以前の報告に見られるように神経原性腫瘍で集積し，2 核種 SPECT も結果の組み合わせによる疾患の特定に有用性が示唆された。

15. サイトメガロウイルス感染症の一例

— ^{67}Ga シンチグラフィ 所見を中心に—

西巻 博 石井 勝己 中沢 圭治
片桐 科子 西山 正吾 遠藤 高
磯部 義憲 (北里大・放)

今回われわれは成人健常者に発症したサイトメガロウイルス (CMV) 感染症の一例を経験したので報告する。症例：42 歳，男性。発熱 (3 週間， 39°C) および乾性咳嗽を主訴に 1990 年 6 月 6 日当院内科に入院となった。入院時 39°C の発熱および咽頭の発赤・腫脹，嚥下痛，頸部リンパ節触知したが，聴診では肺に異常を認めなかった。入院中の検査においてリンパ球の著増，異型リンパ球，CMV-IgM 陽性が認められ，CMV の初感染 (CMV 単核症) と診断された。胸部単純 X 線像では異常所見を指摘できなかったが，Ga シンチにおいて両側全肺野にびまん性の不均一な RI 集積増加を認めた。Ga 集積の機序は不明であるが，CMV 単独感染による肺のなんらかの病的変化を反映したものと考えられた。